

- 長崎市東部地区（東長崎地区及び日見地区）のバス路線を、矢上バス停を拠点としたハブ＆スポーク型に再編することを柱に、
 - ①幹線路線の運行頻度の適正化、
 - ②競合路線の解消（県営バスへの運行一本化）、
 - ③利用者の少ない路線のコミュニティ交通化と
 といった再編事業を実施するとともに、乗継割引や快速便の導入など公共交通サービスの向上を併せて行う。

計画期間 令和4年10月～令和8年3月

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
長崎市地域公共交通計画	→				
長崎市地域公共交通利便増進実施計画(東部地区)		実施	→	検証、見直し	→

路線再編

- ・長崎バスの長崎市東部地区の路線を廃止し、県営バスの運行に一元化。地域線はコミュニティ交通に転換。（運行は県営バス）
- ・幹線路線と地域線の乗継拠点を設定して運行効率を高め、利用が少ない地区の運行本数を維持（ハブ＆スポーク）

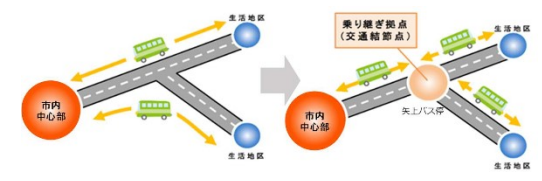
県営バス

- ・長崎-諫早線
- ・矢上団地線
- ・現川・高城台線
- ・網場・春日線

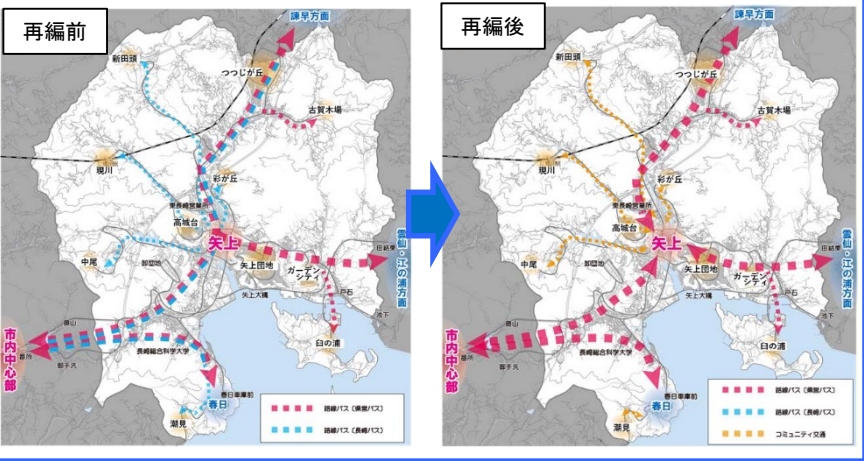
長崎バス

- ・新田頭線
- ・彩が丘線
- ・中尾線
- ・潮見線

県営バスの運行に一元化されます。



計画区域 長崎市東部地区（東長崎地区+日見地区）



運行頻度の適正化

- ・市内中心部への幹線路線のダイヤを見直し、待ち時間を平準化

◆中心部⇄東部地区間【切通-網場道間】(矢上大橋経由除く)

時間帯	市内中心部方面			東部地区方面		
	現況 便数	計画 便数	増減	現況 便数	計画 便数	増減
朝ピーク	35	29	-6	7	8	1
昼間帯	46	23	-23	40	23	-17
夕ピーク	14	12	-2	28	22	-6
深夜	7	4	-3	22	19	-3
計	102	68	-34	97	72	-25

※昼間時間帯の計画便数は60分に3本以上

◆東部地区⇄つつじが丘方面【管賢神社口方面除く】

時間帯	東部地区方面			諫早方面		
	現況 便数	計画 便数	増減	現況 便数	計画 便数	増減
朝ピーク	18	14	-4	10	9	-1
昼間帯	31	14	-17	25	15	-10
夕ピーク	11	7	-4	15	8	-7
深夜	6	4	-2	9	8	-1
計	66	39	-27	59	40	-19

※昼間時間帯の計画便数は60分に2本以上

利便増進事業の効果

- ①平均乗車密度の向上 ※平均乗車密度とは1便当たりの平均利用者数
令和3年度：6.6 ⇒ 令和7年度：9.1 (5.4)
- ②公共交通事業の収支率の向上
令和4年～令和7年（4年合計）：1.01 (0.60)
地域間幹線系統確保維持補助金を収入に含めた額
※（ ）内の数値は事業を実施しなかった場合の推計

公共交通サービスの向上

- ・乗継による利便性の確保・サービスの向上のため、乗継割引+ポイントを追加付与
- ・幹線路線の一部を日見バイパス経由の快速便として設定し、利便性を向上
- ・乗継情報や遅延情報をリアルタイムで発信

